



**“エラ船型”で10%の省エネを!!**

従来、拡大したボックス型のホールドを採用する場合には、船首部分が必然的に肥満型となり、大きな抵抗増加となっていました。が、“エラ船型”は抵抗増加を防止することにより、10%以上の省エネ効果が得られます。

“エラ船型” 特許第2841171号

**命 山中造船株式会社**

〒799-2110 愛媛県今治市流方町大通甲 1331 番地の1  
事務所 TEL 0898-41-9114 (代表) FAX 0898-41-6176  
設計・工務 TEL 0898-41-9888 (代表) FAX 0898-41-8999

この頁は、内航海運に関わる関係官庁・団体等の発表資料を掲載しています。

## 粗鋼生産、前月比微減でも前年同月比16ヵ月連続増加 日本鉄鋼連盟が9月の鉄鋼生産概況発表

日本鉄鋼連盟がこのほど発表した9月の鉄鋼生産速報によれば、粗鋼生産量は対前月比で993万トンと、前月比0.3%の微減ながら、前年同月比では3.4%増となり、前年同月比ではこれで連続16ヵ月間の増加となった。

9月の生産量としては、1973年の1,017.1万トンに次ぎ過去第2位で、7～9月では2,991.1万トン(前年同期比2.9%増)、4～9月では5,980.3万トン(同3.0%増)となった。4～9月の生産は、年度半期としては73年度下期の6,013.9万トン、73年度上期の5,987.7万トンに次いで過去第3位となった。

9月の鋼種別生産では、普通鋼が777.1万トンと前月比1.1%減(前年同月比4.4%増)、特殊鋼が216.1万トンと同2.6%増(同0.2%減)となり、前年同月比では普通鋼が16ヵ月連続で増加、特殊鋼は21ヵ月振りの減少となったが、4～9月の特殊鋼生産は1,289.3万トン(前年同期比1.8%増)で、年度半期としては2006年度下半期(1,319.2万トン)に次ぐ過去第2位であった。

主要品種別にみると、最大のウエイトを占める広幅帯鋼が380.0万トン(前月比4.7%減、前年同月比2.7%増)と、前年同月比で16ヵ月連続して増加し、厚板は114.3万トン(同3.2%増、同9.3%増)と、同11ヵ月連続の増加となったものの、条鋼類ではH形鋼が43.9万トン(前月比15.6%増、前年同月比15.5%増)で前年同月比24ヵ月連続の増加となったものの、小形棒鋼が97.6万トン(同2.9%増、同1.8%減)で前年同月比24ヵ月振りの減少、大形形鋼が11.7万トン(同8.8%減、同11.9%減)で前年同月比2ヵ月振りの減少、中小形形鋼が10.5万トン(同2.0%増、同13.4%減)で前年同月比4ヵ月連続の減少となり、H形鋼を除く主要品種が軒並み前年同月を下回った。

全国鉄鋼生産高 / 全国鋼材生産高 19年9月 Excel形式

全国鉄鋼生産高

(単位:1,000M/T)	2007年9月 (当月)			2007年8月 (前月)	2007年1月 ~ 2007年9月		2007年4月 ~ 2007年9月	
	生産高	前月比(%)	前年同月比 (%)		生産高	前年同期比 (%)	生産高	前年同期比 (%)
鉄	7,234.0	96.3	103.3	7,509.6	64,697.9	103.5	43,628.5	103.6
製鋼用鉄	7,179.3	96.2	103.1	7,459.1	64,336.6	103.5	43,352.5	103.6
鋳物用鉄	54.7	108.3	127.2	50.5	361.3	101.1	275.9	104.9
粗鋼	9,932.7	99.7	103.4	9,961.5	89,330.0	103.8	59,803.3	103.0
転炉鋼	7,418.6	96.4	104.3	7,694.5	66,388.2	104.1	44,533.3	103.8
電炉鋼	2,514.1	110.9	100.7	2,267.0	22,941.8	103.0	15,270.0	100.7
普通鋼鋼塊	7,752.4	98.9	104.4	7,836.0	69,601.4	104.0	46,790.6	103.3
特殊鋼鋼塊	2,138.6	102.6	99.8	2,085.4	19,345.3	103.0	12,755.9	101.8
鋳鋼鋳込	41.7	104.0	99.8	40.1	383.3	104.1	256.8	105.1
普通鋼合計	7,771.4	98.9	104.4	7,854.4	69,779.0	104.0	46,909.8	103.3
特殊鋼合計	2,161.3	102.6	99.8	2,107.1	19,551.0	102.9	12,893.5	101.8
熱間圧延鋼材合計	9,027.3	101.6	103.3	8,886.0	80,943.7	105.0	54,068.3	103.9

(参考)

- ・普通鋼熱間圧延鋼材
- ・特殊鋼熱間圧延鋼材

2007年8月分 (単位:M/T)

販売高	4,728,448
月末在庫高	2,674,156
販売高	1,239,554
月末在庫高	745,695

注) 四捨五入の関係で内訳の計と合計値は必ずしも一致しないことがあります。

全国鋼材生産高

(単位:1,000M/T)	2007年9月 (当月)			2007年8月 (前月)	2007年 1月 ~ 2007年9月		2007年 4月 ~ 2007年9月	
	生産高	前月比(%)	前年同月比 (%)		生産高	前年同期比(%)	生産高	前年同期比(%)
普通鋼熱間圧延鋼材 (一般)	7,133.3	99.3	102.5	7,182.7	64,737.5	105.3	43,370.8	104.1
軌条								
重軌条	18.2	58.6	68.3	31.0	353.6	107.9	232.6	111.6
軽軌条	4.6	142.0	115.4	3.2	35.7	102.7	23.2	97.6
鋼板								
H形	81.5	130.0	106.2	62.7	499.8	110.8	349.0	116.1
H形	439.0	115.6	115.5	379.6	3,649.1	112.8	2,471.6	110.3
大形	116.8	91.2	88.1	128.1	1,159.3	101.3	775.7	101.1
中形	105.4	102.0	86.6	103.3	1,100.3	94.4	715.2	92.6
小形								
棒鋼								
大形	45.0	146.3	126.0	30.8	387.5	109.6	254.2	106.6
中形	52.7	100.4	87.6	52.4	491.3	95.8	326.1	97.4
小形	976.5	102.9	98.2	948.8	9,083.9	102.8	6,165.9	101.9
管	64.1	115.0	126.5	55.8	504.8	98.8	333.8	99.3
線材								
バーインコイル	53.7	101.8	88.4	52.8	520.5	101.8	335.7	96.2
普通	90.3	111.4	93.3	81.1	836.2	100.4	537.8	93.9
低炭素	9.6	87.0	98.8	11.0	93.7	112.9	60.4	103.5
高炭素	50.6	102.0	99.3	49.6	459.3	93.2	307.5	97.6
鋼板								
厚板	1,142.6	103.2	109.3	1,107.7	9,648.3	107.6	6,472.0	109.5
中板・薄板	15.0	102.1	75.7	14.7	148.5	95.0	96.8	90.8
広幅帯鋼	3,800.2	95.3	102.7	3,988.4	35,012.1	105.8	23,416.4	104.1
帯鋼	61.2	82.1	69.1	74.5	697.9	92.3	457.3	88.7
外輪	6.3	88.1	107.0	7.1	55.8	114.7	39.8	108.7
特殊鋼熱間圧延鋼材	1,894.0	111.2	106.5	1,703.3	16,206.1	103.8	10,697.4	102.7
普通鋼冷延広幅帯鋼	1,901.0	94.0	92.7	2,023.3	18,028.6	104.6	11,908.4	101.8
普通鋼冷延鋼板	2.2	84.2	67.8	2.7	27.7	96.5	17.5	93.8
冷延電気鋼帯	156.2	96.8	93.4	161.4	1,445.1	104.8	975.8	107.3
ブリキ	81.0	91.0	102.1	89.0	736.7	102.8	493.3	100.3
亜鉛めっき鋼板	1,265.1	100.3	100.0	1,260.7	11,337.4	108.4	7,555.0	106.8
普通鋼鋼管 (熱間)								
継目無鋼管	55.0	80.7	98.8	68.1	527.7	100.7	348.9	101.4
溶鍛接鋼管	426.8	101.0	96.5	422.6	3,886.7	105.7	2,591.5	104.7
計	481.7	98.2	96.8	490.7	4,414.4	105.1	2,940.4	104.3
鑄鉄管	39.4	124.1	90.7	31.8	290.5	93.9	193.7	95.3